サルは群れで行動します。

なので、一人での追い払いは大変疲れます

地域が一丸となって追い払いを続けることが大切です。

サルの狙いは人里の作物・果樹です。

でも、それだけじゃないんです。

畑周辺の生ゴミや穫り残した作物もサルにとっては大ごちそうなんです。

畑を対策用の柵で囲ったり、エサになるものを隠しましょう。

サルは乗り越える、潜り込む、破ることが得意です。
それに対してサルが容易に入り込めないように工夫され、なおかつ、畑作業の邪魔にもならない畑囲み型の柵です。

畑用防護ネット（えんらく君）

電気柵（おじろ用心棒）

サルは去る者です。

サルのごちそうは
隠す・囲む・回収する。
サルは直接人の手で
来たとき・来るたび追い払う。

地域で力を合わせてサルに円満退去してもらいましょう！！

「サルどこ」から「サルこない」をめざして

「サルどこネット」は猿害対策、野生動物と共存する地域社会作りを目的として、三重県発全国各地で活動しているNPO法人です。

サル位置情報の作成と発信、居所を探るための電波発信器装着、サル防除ネット(えんらく君)の設置、サル接近検知装置の装着・猿害対策講習会などを行っています。

行政の委託を受けた「サル巡視員」や地域の住民などが、サルの位置情報を探っています。その情報はサルどこネットのサル情報(群れ名、出没日時・場所、出没状況)のメール配信、ホームページで位置情報を見ることができます。
情報をご希望の方はサルどこネットまでご連絡ください。

お問い合わせ先
サルどこネット http://www.sarudoko.net/venus/
〒519-2144 松阪市八太町578-5
代表　明石武美　sarudoko-net@hotmail.co.jp

ご支援のお願い

私たちサルどこネットが運営している生きもの情報共有システムは、2003年（平成15）年から三重県版の運用を開始し、2012（平成24）年から全国版が稼働しはじめました。

持続可能なシステムの運営をしていくため、ご寄付を募っております。

皆さまのご協力をお願いいたします。

編集　たまさや
協力　野中健一・水藤春華・鈴木義久・西村和也・六波羅聡
ｲﾗｽﾄﾃﾞｨﾝ 柳原　望
発行　サルどこネット　2015年11月発行

亀山市内のサル情報・追い払い用ロケット花火の入手について
亀山市　生物多様性・獣害対策室　☎０５９５－９６－８５８８

サルが来た!!

さあどうする!?

日本の山々には古くからサルが住んでいました。この20年ほどの間に山から里へおりてきて、中山間部の各地で見かけるようになりました。田畑の農作物を食べ荒らしたり、住宅街にも出没したりしています。

サルは基本的に人を恐がっています。

でも、慣れるんです。

自分に向かってこないものや自動的な脅し装置は効き目がありません。

サルが来るたび、人の手による追い払いをしつこく繰り返すことが有効です。

ロケット花火発射装置ひとしくん２号

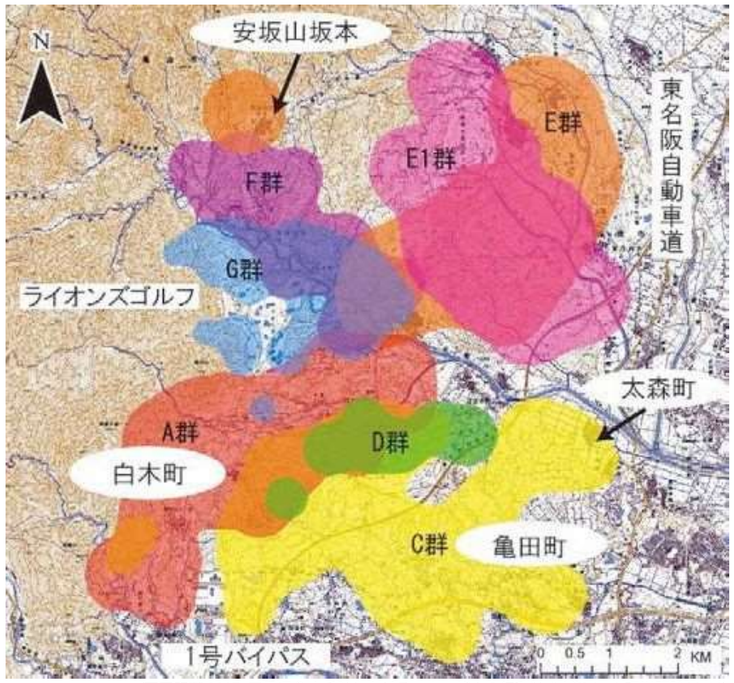
自分に向かってくるものがサルの追い払いに効果があります。

「ひとしくん2号」は市販のロケット花火を安全に、的確にサルの居所を目がけて発射させることができます。射程距離は30mほどです。

このロケット花火発射装置(ひとし君2号)はサルどこネットで取り扱っています。

サルはこんなにいます。

群れの分布です。(三重県亀山市、2006年９月の例)
さらに、群れのオトナメスと同数くらいのオトナオスがいます。



(戸田春華 2007. 三重県亀山丘陵におけるニホンザルの行動特性と猿害, 地理学評論80-11)

亀山市内では約10の群れが確認されました。山の方ばかりでなく里の方や市街地にも広がっています。また、群れの数は次第に増えています。各群れの行動範囲はおよそ決まっており、季節のエサに応じて行動範囲の中を回っています。群れのサルの数が増えたりエサが少なくなったりすると、エサを求めて行動範囲は広がります。

*オスザルは若いうちに群れを離れて、オスだけで数頭のグループを作ったり、単独(ハナレ)でも行動したりします。

サルがいつどこにいるか
わかったら追い払いも楽ですね。

😊 わかるんです 😊

サルはここにいます。

接近・出没情報をキャッチ!
事前に防御態勢が取れる!!

サルは、メスを中心とする群れと、単独・小集団オスのハナレがいます。群れの中の個体に電波発信器に装着し、その電波を受信し、群れの接近や、どこにいるのか探り当てることができます。また、住民の目視による群れやハナレの目撃情報も地域で共有できます。

サルどこネットでは、発見した時刻、場所などを携帯電話上で入力し、センターへ送ります。目撃情報場所を簡単に伝えるサルどこ電話もあります。これらの情報は瞬時にコンピュータで処理されて、携帯電話およびパソコンに送信されます。また、ホームページ上でより詳細な情報や地図を見ることができます。

現在、BLE(Bluetooth Low Energy)技術を導入し、サルの位置情報の収集手段を多面的にすることをすすめています。